

# 市民活動 ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

2001年 1 月号

平成12年12月25日発行

発行◆514-0004 津市栄町1丁目954三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター  
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net  
県NPO室ホームページ◆<http://www.mienpo.net/>

ボランティア国際年



2001年はボランティア国際年です。



ボランティア国際年の  
マスコットキャラクターです。

## 【NPO室から】

今月分の申請は3団体、今までに成立したNPO法人は65団体です。

今月成立した特定非営利活動法人(NPO法人)団体は1つです。NPO室では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

## 県内の市民活動 イベントのスケジュール

平成13年1月～2月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

### ネットワークのよびかけ

今月のよびかけは3件です。バリアフリーの情報誌を制作するための協賛金や不要になった絵本を集めるよびかけなど、比較的気軽に応じられるのでは?パソコン教室のお誘いもあります。

### 助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は3件の情報を掲載しています。

### NPOリレーインタビュー

たまがわひでき

玉川秀樹さん

家族旅行で訪れたネパール。現地の青年との出会いが玉川さんとネパールの縁を築きあげました。現地に雇用促進のため、ゲストハウスを建て、年3回はネパール山中の貧村へ援助物資を届けに行くツアーを企画。こんな大事業も玉川さんにかかれれば肩の力を抜いて行う、楽しみの一つに変わってしまうのです。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

## 【NPO室より】

特定非営利活動法人（NPO法人）申請は3団体ありました。成立した団体は1団体です。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO室及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

### ●認証申請団体

(1) 名称、(2) 申請年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 縦覧期間、(6) 認証の種別、(7) 定款に記載された目的。

#### 【74】

(1) 特定非営利活動法人 菟野を良くする会  
 (2) 平成12年12月4日  
 (3) 宮崎 浩  
 (4) 三重郡菟野町大羽根園青葉町20番地2  
 (5) 平成13年2月4日まで  
 (6) 設立  
 (7) この法人は、家事支援等福祉サービス事業、子どもの躰、徳育等青少年健全育成事業及び植樹、清掃等美しい街づくり事業を行い、明るく住みよい豊かな地域社会を建設し、菟野町の発展に寄与することを目的とする。

#### 【75】

(1) 特定非営利活動法人 三重県生活改善協議会  
 (2) 平成12年12月4日  
 (3) 大倉昌也  
 (4) 鈴鹿市南玉垣町7189番地吉澤ビル4F A号  
 (5) 平成13年2月4日まで  
 (6) 設立  
 (7) この法人は、在宅で援助が必要な高齢者・障害者やその家族、その他の助けを必要とする人々に対して、地域住民と助け合いの精神の基に、環境保全、介護に関する事業を行い、地域住民が健やかに暮らせる地域づくりと福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### 【76】

(1) 特定非営利活動法人 志摩フィールドキャンパス  
 (2) 平成12年12月5日  
 (3) 浜野由一  
 (4) 志摩郡阿児町立神町1952番地1  
 (5) 平成13年2月5日 まで  
 (6) 設立  
 (7) この法人は、自然や生活文化に触れる体験型の環境教育活動に関する事業を行い、地域の環境保全、暮らしの仕組みの変革、子どもの健全育成及び住民の交流を図り、もって地域社会づくり・人づくりに寄与することを目的とする。  
 (平成12年11月18日から平成12年12月14日申請分)

### ●成立した特定非営利活動法人

(1) 名称、(2) 認証年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 定款に記載された目的、(6) 登記年月日

#### 【65】

(1) 特定非営利活動法人 NPOこころネットワーク  
 (2) 平成12年11月17日  
 (3) 神田 博  
 (4) 四日市市赤堀南町2番25号  
 (5) この法人は、こころの悩みを持つ人々に対して、こころのサポートに関する事業を行い、もって社会福祉に寄与することを目的とする。  
 (6) 平成12年11月24日  
 (平成12年11月17日から平成12年12月14日登記完了届出分)

が、平成13年4月1日の駅ビルへの移転をひかえ、今回は期限を3月まで延長することにいたしました。改めてご案内しますが、3月末の引越しの時点までには中身を引き取りに来ていただき、移転完了後のなるべく早い時期に再募集をさせていただく予定です。

●問い合わせ先／三重県市民活動センター運営委員会 514-0004 津市栄町1丁目954 三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net

平成13年1月～2月に開催される

## 市民活動に関する 講演会やイベントです

### 市民活動ネットワーク平成の町割会 2001年1月定例交流会

いっしょにやりませんか、こんな企画!!

●とき／1月12日(金) PM7:00～PM9:00  
 ●ところ／桑名市民会館 ●参加費／会員300円、一般500円  
 ●内容／いまこんなことやっているけど、参加しないかい!これからこんなことをやるから、いっしょにやらないか!こんなこと考えてるけど、どうかな?こんなことをプロジェクトとして進めたいのですが…などなど、いろいろな企画を詳しく提案できるようにしました。何か面白いことはないかなと思っているみなさん、あるいはみんなどんなことを考えているのかなと思っているみなさんも、是非おいでください。みんなで年の初めの夢のような楽しい時間を過ごしましょう。定例交流会終了後、サロンわたしに移動して運営委員会を開催します。  
 ●申込・問い合わせ先／市民活動ネットワーク平成の町割会  
 Tel. 0594-27-2700  
 ホームページ <http://www.watashi.gr.jp>

### 少子社会を考える県民フォーラム開催

テーマ「少子社会の課題を探る」第2回会議一般参加者を募集

●とき／1月17日(水)PM6:30～PM8:30  
 ●ところ／三重県総合文化センター内三重県文化会館中会議室  
 ●参加費／無料  
 ●内容／第1回会議は12月20日に開催され、今回が第2回会議となります。このまま子どもが減り続けると日本はどうなるのか。地域はどうなるのか、家庭はどうなるのか。なぜ一人っ子が多いのか。なぜ仕事か出産かという選択を迫られるのか。なぜ母親が子育てをするのか。結婚と出産、仕事と子育て、企業と理解、夫婦の協力、家族の応援、地域の支えあい。学者、医師、弁護士、教師…さまざまな分野の専門家が集い、「少子社会」の課題について語り合い議論します。あなたも参加しませんか。託児室もありますので希望の方はお問い合わせください。  
 ●申込・問い合わせ先／「少子社会を考える県民フォーラム」実行委員会事務局(伊勢新聞社内) Tel.059-224-0003  
 Fax.059-226-3554 E-mail kikaku@isenp.co.jp  
 ※実行委員会は三重県の委託を受け、県民ボランティアと伊勢新聞社によって運営されています。

### 【三重県市民活動センターより】 ロッカーおよびメールボックス更新手続きの延期について

三重県市民活動センターでは、毎年12月初旬にロッカーおよびメールボックスの更新手続きの申し込みを受け付けておりました

### (NPO法人三重いのちの電話講演会)

子育てのコツ～乳児期から思春期まで～

●とき／1月20日(土) PM3:00～PM4:30(受付PM2:30～)  
 ●ところ／三重県松阪庁舎大会議室(松阪市高町138番地)

- 参加費／無料
- 内容／三重いのちの電話協会理事長で三重県立小児心療センターあすなろ学園長の清水将之さん(医学博士)の講演会です。
- 申込・問い合わせ先／三重いのちの電話協会 Tel.059-213-3975 担当理事 西口裕 Tel.&Fax.0598-28-5911
- 主催／特定非営利活動法人三重いのちの電話協会
- 後援／三重県松阪県民局保健福祉部、松阪教育事務所、松阪市、松阪市教育委員会

## 2001市民活動塾

- とき／1月21日(日)～3月18日(日)(全5回)
- ところ／三重県市民活動センター他 ●募集人数／30人
- 内容／21世紀は私たち市民が変革の担い手!それにはどんな知恵や手法を身につけていけばよいのでしょうか。楽しみながら、探りながら、学ぶ講座です。第3回には企画力アップトレーナーの吐山継彦氏、第4回には大阪ボランティア協会の早瀬昇氏をお迎えするなど、豪華講師陣がお待ちしております。

### 【プログラム】

- 第1回／1月21日(日)AM10:00～PM4:30  
開塾式／オリエンテーション／市民活動論／プログラムトレーニング
- 第2回／2月4日(日)AM10:00～PM4:30  
現場に学ぶ(フィールドワーク)ウィリアム・テルズ アップル他
- 第3回／2月17日(土)AM10:00～2月18日(日)PM4:30  
企画力アップトレーニング(合宿)
- 第4回／3月4日(日)AM10:00～PM4:30  
NPOマネジメント／ワークショップコーディネーター／情報ネットワーク
- 第5回／3月18日(日)AM10:00～PM4:30  
市民活動のための会計と税務／パートナーシップ論／NPOの事業評価／閉塾式
- 申込方法／ホームページまたは事務局より申込用紙を入手の上、必要事項をご記入ください。
- 申込締切／平成13年1月15日(月)必着
- 申込・問い合わせ先／三重県市民活動塾「塾の会」事務局 514-0004 津市栄町1-954 県民サービスセンター4F 三重県市民活動センター私書箱3号 Tel.&Fax.059-224-0614(松宮) E-mail juku@pcs.ne.jp  
ホームページ <http://www.chamber.gr.jp/juku.html>

## 平成12年度住民参画のまちづくり協働事業 まちづくり交流会開催

亀山「え〜とこ」みんなで語ろう。  
かめさん

## きらめき亀山21 まちづくり交流会

- とき／1月21日(日)PM1:00～PM4:00
- ところ／亀山市立神辺小学校 ●参加費／無料
- 内容／【プログラム】  
PM1:00～PM1:30「オープニング」、PM1:35～PM2:50「分科会」、PM2:50～PM3:00「休憩」等、PM3:00～PM4:00「全体会」まとめ。  
【分科会のテーマ】  
1.亀山の町並み保存 2.バリアフリーのまちづくり 3.子どもについて(のびのび育て!亀山っ子) 4.亀山の商店街(商売)を考える 5.新しい祭り 6.国際交流 7.みんなで生涯学習を 8.亀山のいいとこさがし 9.めざせエコ市民 亀山の自然環境を考える
- 申込・問い合わせ先／亀山市(市民課) Tel.05958-2-1111(代)、三重県 Tel.059-224-2747
- 主催／きらめき亀山21実行委員会、三重県、亀山市

## 大自然の中、ケナフで紙を作ろう! 紙すき体験参加者大募集

- とき／平成13年1月21日(日)AM9:30～PM3:00
- ところ／ステージはっぼう(三重郡菟野町田光)
- 参加費／700円(3才以上)
- 内容／5月に種をまき、県民の森で育てたケナフでの紙すきです。今回初めての方も一緒に自然の中で紙をつくってみませんか?「森の仲間」代表の伊達伝司さんにお話を聞いてから作業を始めます。暖かい豚汁付きで、バウムクーヘン、パンなども焼く予定です。
- 持ち物／軍手、ゴム手袋、タオル、弁当、おわん、寒くない服装
- 申込・問い合わせ先／特定非営利活動法人三河地区子ども劇場センター Tel.&Fax.0593-51-6367

## ★☆☆ 星の街の音楽会VOL.7 ★☆☆ ニューイヤーコンサート

- とき／1月21日(日)PM1:30～(PM1:00開場)
- ところ／三重県人権センター多目的ホール
- 参加費／会員…1家族1000円、非会員…大人1000円、高校生・中学生500円、小学生300円
- 内容／アイルランドの伝統楽器を用いたスーパーアコースティックバンド「カロランズカフェ」の演奏。アイルランドの伝統音楽のみならず、映画音楽やビートルズまで、レパートリーは幅広く、心地よく耳になじむサウンドです。
- 申込・問い合わせ先／社団法人日本自閉症協会三重県支部 514-0818 津市城山3丁目9-20 横山美香 Tel.&Fax.059-234-9477  
亀田Tel.0593-88-7856 Fax.0593-88-7857
- 主催／社団法人日本自閉症協会三重県支部

## 鳥羽商船の練習船で伊勢湾へ船出しよう! 1泊2日の「伊勢湾を知ろうシリーズ」

- とき／1月27日(土)～28日(日)
- 参加費／6000円(宿泊、夕食、朝食、傷害保険含む)
- 内容／27日(土)PM2:00 鳥羽商船高等専門学校集合。どうして鳥羽市に商船学校ができたのか?の話と校内見学の後、PM4:00 練習船「鳥羽丸」に乗船し、伊勢湾へ船出&海上で一泊。楽しいお話&体験盛りだくさん!船乗りになったつもりで、灯台の役目とはどんなものなのか実体験してみましよう。  
28日(日)AM11:00 帰港&片づけ。解散は正午を予定。
- 持ち物／寝袋または毛布、洗面道具、防寒具
- 対象／18才以上中心・海のしろうと歓迎
- 応募締切／開催日の7日前に葉書必着もしくは電話連絡が必要
- 申込方法／往復ハガキに参加したい日付、参加者全員の名前・性別・年齢、代表者の住所と電話番号を記入の上、下記へ送付。
- 申込・問い合わせ先／510-0254 鈴鹿市寺家2-12-5 自然案内人CLUB 伊藤理雪 Tel.&Fax.0593-86-2212 E-Mail yq5r-itu@asahi-net.or.jp

## 平成のまちづくり …………… 「くわなるネッサンス」プレフォーラム

- ー自分が変わる、まちが変わる、市民参加のまちづくりをめざしてー
- とき／1月27日(土) PM1:00～PM6:00
- ところ／桑名シティホテル(桑名市中央町3-23 桑名駅より徒歩5分)

●参加費／無料

●内容／スペシャルゲストに日本NPOセンターの山岡義典さんと三重県NPO室の出丸朝代さんをお招きし、平成13年度に桑名市が市民と共に「『平成のまちづくり「くわナルネッサンス」』のプレフォーラムを開催します。市民が輝くまち、魅力あるまちへとステップアップしていくために、私たちはどんな取り組みができるのか、いろいろな角度からみていきます。

【プログラム】

PM1:00／水谷桑名市長がまちの未来を語ります。

PM1:30／山岡義典さん(日本NPOセンター常務理事)が「市民参加のまちづくり心のバリアーを越えて」と題して、市民活動についての心の壁についてお話しいたします。

PM2:40／市民活動体験講座に参加されたみなさんが、市民活動を体験したときの感想を話してくれます。

PM3:30／出丸朝代さん(三重県生活部生活課NPO室長)と服部則仁さん((財)まちづくり市民財団評議員・桑名市在住)が、「市民活動がおこないやすい環境づくり」をテーマに対談します。

PM5:00／平成13年度に桑名市が市民と共に「『平成のまちづくり「くわナルネッサンス」』について、市民組織委員会のみなさんがお伝えします。

●申込・問い合わせ先／桑名市都市心整備課 Tel. 0594-24-1365 Fax. 0594-24-1355

●主催／桑名市 ●企画協力／市民活動ネットワーク平成の町割会

考えよう!子どもたちの未来  
やろうよ!いま、私たちにできることから  
環境を考えるつどい



●とき／1月30日(火)AM10:00~PM3:00

●ところ／三重県四日市庁舎6階大会議室(四日市市新正4-21-5)

●参加費／無料

●内容／「資源循環型社会に向けてドイツの場合」と題し、ドイツでの「市民の取り組み」「行政の政策」「環境教育」「企業の取り組み」「農業の取り組み」についてアンドレア高松さんを講師に迎えお話しいたします。その後、ドイツでの取り組みを参考に、自分たちの住んでいる地域での問題や解決法などについて話し合う分科会を開催します。分科会のテーマは「第1分科会…ゴミ減量」「第2分科会…ポイ捨て」「第3分科会…環境と農業」「第4分科会…環境教育」「第5分科会…地産地消」の5つです。また、米、野菜、お茶など地元産の農業・農産物展示即売、コシヒカリのおにぎり試食会もあります。

●募集人数／200人(定員になり次第申し込みを締切ります)。託児あり(要予約、人数制限あり)

●申込方法／希望する分科会名(第1、第2希望まで)、住所、氏名、緊急連絡先(大雪など災害で中止の場合の連絡用)を記入の上、はがき、FAX、Eメールのいずれかで応募してください。

●申込・問い合わせ先／四日市鈴鹿地域農業改良普及センター経営普及グループ 511-8511 四日市市新正4丁目21-5  
Tel.0593-52-0637 Fax.0593-52-0320

E-mail fukyuy@pref.mie.jp

●主催／Agriロマン四日市サルビア

「きらめき流パソコン講座・親子でチャレンジ」

●とき／2月4日(日) PM1:00~PM3:30

●ところ／三重県鈴鹿山麓研究学園都市センター研究室1(四日市市桜町3690-1リサーチパーク内)

●参加費／3000円 ●募集人数／18人

●内容／親子で力を合わせて、世界中で一枚しかない「我が家のチラシ」を作ります。講師は三重大学教育学部附属教育実践総合センター助教授の須曾野仁志氏、協力は四日市市立桜中学校教

諭の天野昌和氏です(桜中学校パソコンクラブ員が作成した絵を使用させていただきます)。出来上がった「我が家のチラシ」は、ラミネーターコーティングをして、下敷きにしてお渡します。なお、この講座の収益金は夫やパートナーから暴力を受けている女性を救済するため、DVシェルター設置基金に寄与されます。「きらめき・ねっと」会員も同時募集しています。

●持ち物／チラシの中に書き込む「我が家のPR」を考えてきてください(写真やイラストなども)。

●応募締切／1月20日(土)。抽選の上、決定者のみ通知します。

●申込・問い合わせ先／「きらめき・ねっと」 Tel.&Fax.0593-55-3984(稲岡)、Tel.&fax. 0593-33-0770(林)  
E-mail haruru@fine.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~syaron/>

水の上から、何かが見える

第7回地域づくり仕事人交流会in桑名

●とき／2月4日(日)AM10:00~

●ところ／六華苑(桑名市大字桑名字鷹場663-5)

●参加費／無料(但し、プログラムによっては食事代が必要なものもあります)

●内容／県内で地域づくりに主体的に関わっている人々、そして地域づくりに関心を持っている人々が一堂に会し、これまでの成果や今後の活動について情報を交換し、地域づくりの輪を広げる交流会です。テーマは「『川、湖、海、湊』~みんなが輝くネットワークづくり~」。水をテーマにした地域づくりのあり方についてみんなで考えましょう。

●応募締切／1月17日(水)

●申込方法／指定の申込書を郵送またはFaxで送ってください。電話による申込みも受けつけますが、その場合は申込書の内容をお伝え願います。

●申込・問い合わせ先／514-8570 津市広明町13番地 三重県地域振興課内 みえ地域づくり団体交流会議事務局  
Tel.059-224-2419 Fax.059-224-2418

●主催／みえ地域づくり団体交流会議、「第7回地域づくり仕事人交流会in桑名」世話人会

移動型子育て支援センター・ミニAAA事業

平成12年度社会福祉・医療事業団

(子育て支援基金)助成(事業)

応援します!!



「子どもの健やかな育ち」と「子育て家庭」

ミニ・コンサート

●とき／平成13年2月10日(土)PM2:00~PM3:00

●ところ／久居市児童センター ●参加費／無料

●内容／日本雅友会の方々による雅楽の演奏。雅楽の調べを通じ、子どもたちに伝統文化の素晴らしさを感じてもらおうと企画しました。発進!!移動型子育て支援センター・ミニAAA(トリプルエー号)

移動型子育て支援センターとして情報発進や相談などを行います。子どもの好きな方のボランティア・スタッフ募集中

ボランティア活動は下記までご連絡ください。ボランティア保険の加入手続きをいたします。

●申込・問い合わせ先／514-1118 久居市新町3006 ポルタひさい活動交流室 Tel.&Fax. 059-254-4455 または、514-1106 久居市寺町1258 NPOどんどこ代表 佐橋俊美 Tel.&Fax. 059-255-3603

●主催／特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワーク NPOどんどこ

●後援/久居市、久居市教育委員会、久居市社会福祉協議会、久居市レクリエーション協会

## もう少し文章がうまく書けたらなあと思っているあなたへ 書き方講座

- とき/第1回・2月10日(土)AM10:00~正午  
第2回・3月3日(土)AM10:00~正午
- ところ/蔵屋1Fホール (あさけプラザ西 Tel.0593-64-7008)
- 参加費/2回で3000円(1回だけの参加も応相談)
- 内容/講師はウイン女性企画の重原惇子さん。講座の内容はインタビューをして相手の話を聴いてまとめたり、自分史やテーマを決めて文章を書くことなどを予定しています。講座終了後、その能力を生かせる機会もあります。
- 問い合わせ先/寺子屋プロジェクト(井上) Tel.0593-63-4990 Fax.0593-63-4989

1月21日(日)~PM1:30~PM3:30

※内容・回数は相談の上決定します。視覚障害者の方は2人までとさせていただきます。

2.Windows基礎・インターネット講座

1月18日(木)~10回 PM2:00~PM4:00

3.Word・Excel講座

1月17日(水)~10回 PM6:00~PM8:00

4.ホームページ作成講座

1月19日(金)~10回 PM6:00~PM8:00

(その他、障害者の方を対象にインターネットを利用したパソコン講座も開催します。教室に来なくても自宅好きな時間を利用して自分のペースで学習でき、質問はeメールでやりとりします。詳しくはお問い合わせください)

●参加費/1回3000円(1時間あたり1500円)

●募集人数/各講座8人(3人以下の場合は開催しません)。3人以上のグループの場合は日時の相談可。

●問い合わせ先/514-1254 久居市森町165

Pep-Com(ペブコム) Tel.&Fax.059-254-2525

E-mail pepcom@ruby.ocn.ne.jp

チェアウォーカーもそうでない人も使えるバリアフリーの情報誌

伊勢鳥羽志摩ガイドおでかけチェアウォーカー

「車椅子で遊びに行こう!」

一口1000円のご協賛募集中

このガイドブックは、チェアウォーカーのみに発信するものでなく、たくさんの人に手にとってもらえる誌面づくりを目指し、それにより多くの人に車椅子への理解、バリアフリーに対する知識を高めていただくというもの。「伊勢志摩NPOネットワークの会」としては、県から委託された今年度の「地域NPO活動基盤整備事業」の一部としてこの企画を「伊勢ばりふり団」と協働で行うものです。

●申込・問い合わせ先/伊勢ばりふり団代表 橋本あゆみ  
Tel.090-4213-8521

●協賛申込/森本かおり Tel.090-4250-2928

Eメール morikao@lilac.ocn.ne.jp

または伊勢志摩NPOネットワークの会事務局まで



## 読まなくなった・いらなくなった絵本を集めています!

Sphere(スフィア)は、市民による国際理解や国際交流、そして国際協力を推進し、また、それらの情報を地域に発信していくことを目的として設立された伊勢在住のボランティアグループです。「スフィア」は英語の「球」。地球を意味しています。現在、私たちは絵本にカンボジア語(クメール語)の訳文を貼り、カンボジアへ贈る活動を行っています。集めている絵本は以下の7種類です。

1.三びきのやぎのがらがらどん/2.スーホの白い馬/3.そらいろのたね/4.てぶくろ/5.のろまなローラー/6.100まんびきねこ/7.プレーメンのおんがくたい(すべて出版社は福音館)

●問い合わせ先/伊勢市一之木4丁目10-22-301  
ボランティアグループ スフィア(代表者・奥村順子)

Tel.&Fax.0596-22-7326

事務局・亀山裕美子 Tel.&Fax.0596-23-4834

E-mail kameyama@poplar.ocn.ne.jp

## 公開講座

### 「共に生きるすばらしさを見つけよう!」

- とき/2月10日(土)PM1:00~PM4:30
- ところ/鈴鹿市ふれあいホール(鈴鹿市南玉垣町6600番地)
- 参加費/無料 ●対象/教職員および県民
- 内容/国際化が進み、日本から外国へ、外国から日本へと多くの人々が行き来しています。三重県内においては1990年(出入国管理及び難民認定法の改正)以降、ブラジル、ペルーなど南米国籍の人々が急速に増加しており、そのような状況の中、私たちの外国籍の人々に対する「心のバリア」を取り除くことが重要な課題となってきました。それぞれの国には独自の文化があり、生活習慣なども様々ですが、お互いを理解し、認めあっていくことは、広い視野で豊かな心を育むことにつながっていくと考えます。この公開講座では鈴鹿市在住日系2世の川瀬照代さんの講演「日本に来て思ったこと」のほか、コーディネーターに森由紀さん(三重大学留学生センター)とパネラーに川瀬照代さん、木村洋子さん(鈴鹿市立創徳中学校)、藤本久司さん(三重にほんご交流ネットワーク)を迎えたパネルディスカッションを開催します。なお、講演中は手話通訳を行います。
- 募集人数/200人(車椅子席は5席)
- 応募締切/1月15日(月)必着としますが、定員200人を超過した時点で締め切らせていただきます。申込受付後、参加承諾はがきを送りますので、当日の整理券としてご持参ください。
- 申込方法/往復はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入の上、下記まで。なお、返信先も記入してください。
- 申込・問い合わせ先/514-0007 津市大谷町12番地 三重県総合教育センター 公開講座③係  
Tel.059-226-3572(教職員研修部)
- 主催/三重県教育委員会、三重県総合教育センター
- 共催/鈴鹿市教育委員会

## ネットワーク のよびかけ

### ペブコムパソコン教室

“パソコンに興味がある・パソコンを活用してみたい”方大歓迎!障害者の方でも、NPOならではのバックアップ体制で受講できます。

・講座内容

1.障害者・高齢者講座

# フリーマーケット情報

【中勢フリーマーケット協会の開催予定】

●1月13日(土)、14日(日)AM9:30~PM3:00  
一志郡嬉野町黒田西部くすのき台(近鉄中川駅から徒歩10分)  
1ブース1000円

※開発団地の雄大な景色のなかで散歩を兼ねてフリーマーケットをしましょう。

●1月27日(土)、28日(日)

亀山市 1ブース2000円(予定100ブース)

※露天商、飲食ブースが150店舗も集まる亀山が誇る大商店祭りにフリーマーケットが合体。

『平成13年度会員募集』

新規会員は入会金1000円と年会費1500円を振り込んでください。更新会員は年会費のみです。特典は毎月自宅に郵送されるフリーマーケット情報。出店ブース数ポイント返金制も導入しました。

●申込方法/出店、会員申込とも、直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。

中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921

●問い合わせ先/安芸郡河芸町大字中別保2434-5

中勢フリーマーケット協会(若林都史子) Fax.059-245-2536

Tel.(携帯)090-7027-4334(平日PM4:00以降に)

## 助成金 ニュース

### (財)安田生命クオリティオブライフ文化財団 地域の伝統文化保存維持費用助成

●受付締切/1月31日(水)消印有効

●助成の目的/古来地域に伝承されてきた民族の遺産とも言える固有の伝統的な文化が時代とともに消滅しつつある現在、こうした歴史的・文化的に価値ある地域の民俗芸能(民俗行事、民俗音楽を含む。以下同じ)・伝統的生活技術(民具制作技術、伝統工芸を含む。以下同じ)などを正しく後世に残すことが時代の責務であるとの考えにたって、当財団はこれらの継承のための諸活動、とくに後継者育成に必要な技能修得のための諸活動への支援を行います。

●助成の対象となる団体/1、平成13年度(平成14年3月まで)に後継者育成を目的とする諸費用(研修費、発表会場費、道具整備費、製作材料費、記録保存費用など)の支出を予定していること。2、上記支出を賄うために、外部からの資金協力が緊急不可欠であること。(家元、流派などが確立され、保存維持の見通しが立っていたり申請した事項につき国・地方公共団体などの公的助成ないしは他財団などからの助成を受けているものは対象外)。また、国指定の重要無形民俗文化財(「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」は除く)、伝統性、地域性の希薄なもの、あるいは助成対象が不特定なもの、研究助成は対象外です。

●助成の対象となる活動/

1、地域の民俗芸能への助成…地域の民俗芸能の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体を対象。  
2、地域の伝統的生活技術への助成…地域の伝統的生活技術の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体を対象とします。

●助成の額/1、地域の民俗芸能への助成については1件につき100万円、2、地域の伝統的生活技術への助成は50万円をそれぞれ限度とし、申込内容を検討のうえ、具体的な助成金額を決定。

●応募方法/所定の用紙を下記まで申請。申込に際しては「推薦書」に県教育委員会または知事部局の文化関係課・文化財関係所

管課のコメントと捺印を受けてください。申込書、推薦書など提出書類はできる限り簡易書留便にて送付。

●問い合わせ先/(財)安田生命クオリティオブライフ文化財団  
160-0023 東京都新宿区西新宿1-10-1 安田生命第二ビル  
Tel.03-3349-6194 Fax.03-3345-6388  
ホームページ <http://www.yasuda-qol-bunka.or.jp>

### 三菱財団社会福祉事業並びに研究助成

●受付締切/3月2日(金)

●助成の対象となる団体/日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有する者(国籍等は不問)。営利目的の企業等並びにその関係者は対象外。

●助成の対象となる活動/現行制度上、公の援助を受け難い、開拓のないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業(原則として法人に限る)。開拓のないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究(個人・法人等いずれも可)。

助成金の使途については「開拓的・実験的・事業ないし研究」を基軸とした調査研究費、施設費(建設、設備資金)、施設以外の経費(職員研修費等も含む)。従って、単なる施設建設、設備・機器購入等のみを目的とした申込は、対象外となりますのでご留意下さい。また、ここでの「開拓・実験性」については、内容上特に具体性のあるものに限定されますが、福祉現場での「実践的、草の根的」活動に基づくものも、充分評価されます。

●助成対象事業の期間/1年を原則としますが、必要やむを得ぬ場合、「2か年継続」も認められます。(2か年度分の助成申込を一括査定、助成金は2か年で使用する。)

●助成の額/総額約9000万円を予定。1件宛の金額は特に定めなし。(採択予定件数約20件程度)

●応募方法/財団所定の申込書に必要事項を記入し下記まで。なお要領・申込書用紙は、宛先記入済の角2返信用封筒に140円切手貼付したものを同封し下記まで請求いただくか、ホームページにてダウンロードしてください。また、当方より本件助成周知先宛既に送付済のもの、あるいはそのコピーを使用頂いても結構です。

●問い合わせ先/(財)三菱財団 100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号三菱ビルディング15階

Tel.03-3214-5754 Fax.03-3215-7168

ホームページ [http://www.dias.ne.jp/m\\_zaidan/](http://www.dias.ne.jp/m_zaidan/)

書式ダウンロード

[http://www.dias.ne.jp/m\\_zaidan/mzd710j.htm](http://www.dias.ne.jp/m_zaidan/mzd710j.htm)

### 米日財団 日米相互理解プロジェクト助成 (コミュニケーション/世論)

●受付期間/随時

●助成の対象となる団体/無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。

●助成の対象となる活動/コミュニケーション/世論:日米両国民が互いに相手国を理解するための機会を提供するもので、リーダーシップ交流などのプロジェクト。

●応募方法/直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。

●問い合わせ先/米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2 霊南坂ビル1F Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128 ホームページ <http://www.us-jf.org>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人や、その他の法人などの情報を収集し、その活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。

<http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。志摩地域高度情報化推進協議会事務局長の山崎善隆さんが自信を持って紹介してくれたのは玉川秀樹さん。高校卒業後、日本各地を旅した彼がたどり着いたのはヒマラヤの国・ネパールでした。

**沖縄から大王町へ**

……大王町には何年前に越してきたのですか？

15年前です。僕は京都生まれですが、高校卒業後、北海道でエビ・カニ漁船に乗って以来、日本の離島や田舎の方を回って、気に入った所に住んでは、移動する生活をしていました。与論島、トカラ列島と移動した後、沖縄に行き、大王町に来るまで暮らしました。竹富町にある小浜島で10年、素潜り漁をして、そこで子どもが3人生まれました。

……こちらに来たのはなぜですか？

小浜島には小・中学校しかなくて、高校へ進学しようと思ったら石垣島まで行く必要があるんです。進学すると送りや下宿代など現金が必要になる。島で漁師をしていると最低限の現金収入しか稼げなかったし、それで充分だったんですが…。それにその頃、島がどんどん変わってきたんです。大きなリゾートホテルができて、自分たちにとって住み難い島になってきた。僕は自分の想いと、自分が暮らすところのロケーションが一致していなければ無理に居る必要もないと思っているので、丁度、島を出る頃だったんでしょう。

……大王町に来たのはなぜですか？

ここは妻の里なんです。海女さんがたくさんいるのを見て、僕も素潜り漁をしましたから、いざという時は潜れば何とかかなと。

……お仕事は何をされているのですか？

天然の海草や魚、無添加の煮干しなどを扱ってます。たまたま有機農業やオーガニック食品の仕事をしている仲間がたくさんいて、海産物系を扱っている人が少ないので「やってみては」と声がかかったんです。

後列真ん中。ヒゲをはやしているのが玉川さんです。



聞く  
**玉川秀樹**さんに

……お店を構えているのですか？

発送と週に1度、大王町波切の浜にその日あがった魚を実家がある京都へ持って行ってます。行商なんですけど会員制というか、オーガニックの野菜を共同購入しているグループから声をかけてもらいました。それが他にも広がっていったんです。店の名は「海人(うみんちゅ)商会」。「海人」とは沖縄の言葉で漁師という意味です。

**ネパールにゲストハウスをつくる**

……ネパールのカトマンズにホテルを持っているそうですね？

ホテルじゃなくゲストハウスです。日本風といえば民宿。全9部屋で、日本人専用です。食事、お風呂も日本風。7人の従業員は全員、日本語が話せます。名前は「ファミリー・ゲストハウス」。

……玉川さんが経営しているのですか？

経営はネパール人。僕には一円も入りません。僕はつくるための資金援助と日本人の扱い方というか、そんなことの指導をしました。

……資金援助することになったのはなぜですか？

1992年に家族でネパール旅行をした時に、一人のネパール人青年と仲良くなったんです。彼を通じて、仕事をしなくても仕事がないというネパールの現状を知りました。それでつきあいが始まり、翌年、子どもをホームステイさせてもらって、お世話になったので何か協力しようということになったんです。でも当初はゲストハウスなんて考えてませんでした。冗談のノリだったんですけど、まあ、「ネパールは気に入っているし、行った時にタダで泊まれたらいいか」ぐらいの気持ちだったんです。

……指導をされたといいますけど、それは現地で行ったのですか？

観光ビザを取れば3カ月間、日本に滞在できますから、それを利用して交代でスタッフを自宅に呼んだんです。日本語を含め、日本人の生活文化を知ってもらいたかった。それには自分の家の生活を見せないといけないと思ったんです。日本は世界で一番、ネパールに援助をしている国なんですけど、そういう報道や都市部の生活、工業の生産高でしか彼らは日本を知らない。日本人は誰もが裕福だと思ってる。だから僕がどんな風に働いて、お金を送っているのかわかってもらわないと、彼らのためにもよくないし、これがきっかけになって彼ら僕が大変な思いをしているのだから、自分たちも努力しようと思ったんです。

……玉川さんはネパール語を話せるのですか？

こちらに彼らと呼ばれた時、僕は彼らに日本語を教えて、彼らは僕にネパール語を教えてくれたんです。彼らが日本語を覚える方が早かったけど、対等になろうと思ったらこちら覚えないと失礼でしょう。

……彼らのカルチャーショックもすごかったのでは？

彼らは海を知らないから、こちらに来たらまず潮をなめさせる。「しょっぱい」ってびっくりしますよ。それに海を見て土地だと思おうと「日本は土地が広い」って。海が一番感動するね。そんな彼らにタコやナマコを切らせるんだから「ぎゃーぎゃー」言いますよ。あと、道を人と牛が歩いていないことに驚く(笑)。それにゴミがないと。結局、こういう生活を通じて、日本の文化を現場体験させないとね。例えば日本人は清潔好きでしょう。それが向こうでは子どものおしっこを拭いた布で、コップを平気で拭くんです。ビールを飲んでもなんかおしっこ臭い(笑)。そんな状態でゲストハウスをさせても、日本のお客さんが泊まるわけないでしょう。

……ネパールの日本大使館とも仲がよいそうですね。

3カ月毎にビザの申請に行くから、友だちになっちゃった。以前、スポーツ大会の選手として日本へ来た人が逃げて、2年も隠れていたことがあったので、大使館で「もし、逃げたら全責任は僕だ」と、一筆書かないといけない。今では大使館関係の人はもちろん、日本人にトラブルがあった時、ゲストハウスでお世話するくらいになりました。ネパールに関わりだして8年ですが、今ようやくホッとしたところ。それまでは向こうから来る連絡でいい話は一つもなかった。いつかは育つと思って、時間がかかってね。でも、まあこれも修行かなと。おかげで我慢強くなりました(笑)。

**あえて山奥の貧村へ行くネパールツアー**

……ネパールへ行くツアーも行っているそうですね。

1月とゴールデンウィーク頃、それに8月の年3回です。ツアーに参加する人は仕事を持っている人が多いので、休める日が限られてくる。料

金は行く場所や時期によって変わってきますので、興味のある人は問い合わせてください。

……ツアーの目的は？

最初はゲストハウスへお客さんを呼ぶという意味もあったんですが、ちょっと変わってきました。今は旅行者が来ないような山奥の村へ古着や文房具、医療品、車椅子などを届けています。飛行機には一人20キログラムまで無料で荷物が載せられますから、10人でいけば200キロの援助物資が無料で持っていけるんです。つまり参加者は参加費を払ったうえ、ネパールまでは荷物運びもしてもらわけてです。あと、そういう村には現金収入がないので、地元の雇用促進という意味からも村でポーターを雇うなどしています。山間の村というのは元々、貧富の差が激しいネパールのなかでも特に貧しいんです。

**僕はいずれ、向こうから日本に出稼ぎにきます。たまたま日本のパスポートを持った、ネパール人という気持ちでいるんです。**

……援助物資を船便などで送ることはしないのですか？

お金がかかるし、現場に届くなんて100%ありえない。貧しいエリアに着く前に、もうちょっと豊かな人たちが抜いて行って、最後には何も残らないんですよ。日本政府が送った物資が道で売られているなんてことは日常茶飯事です。

……物資の古着などはどうやって集めているのですか？

今は学校に声をかけて、着なくなった指定の体操服を集めてもらっています。これなら学校のマークが入ってますから、プレゼントしたことが形になりますし、なにより体操服はデザインが一律なのがいいんです。僕たちも最初は私服を集めて持っていったんです。でも、デザインが様々ですから不平等になったり、ヒンドゥーの宗教的な問題で着られないとわかってきたんです。それに、日本では不要でも向こうの人からすれば新品同様だから、親が取り上げて売ってしまうんです。

……車椅子も山奥へ持って行くのですか？

車椅子は舗装していない場所では使えませんから、主にカトマンズで使います。カトマンズは昔の日本のように急激に新しくなりつつあるから、交通事故やケガが多いんです。だけど、先進国のような施設や保険がありませんから、そういう子どもに届けているんです。

……それ以外の援助は？

医療面ですね。向こうに行くと必ず、病気がケガをしている子がいるんです。持っていった薬で応急処置できればいいんですが、なかには病院に送らないといけないうちもいます。当初は居合わせた参加者から集めていたんですが、それを報告書に書いたら、あちこちからカンパが寄せられるようになりました。毎回、10～20万円くらいになるんです。そのお金で、一人の女の子に義足をつくってあげたこともあります。義足は何年か一度、成長に合わせて替えないといけませんから、その子を一生面倒みることになりますね。

……山奥へ行くとなると移動も大変ですね。

車で行けるところまで行って、ポーターと合流します。下手をすれば往復10日間、徒歩ということも(笑)。宿もありませんから民家やテントに泊まります。貧しい村ですから、家と言っても畑小屋みたいなもの。その土間に寝るんですから、夜は星空が見えるし、隣には羊や鶏、豚がいる。

……文句を言う人はいませんか？



最初にきちんとと言います。「星空満天のホテルです」って(笑)。

……参加者はどんな人が多いですか？  
20回も続いていますから、常連組が増えて

「ファミリー・ゲストハウス」です。宿泊料は1泊シングルで10～15ドル。



ネパールの子どもたち。背中に背負っている籠には水瓶が入っています。

きました。年齢的には60才前後の時間とお金に少しゆとりのできた人が多いです。最初は仕事仲間に声をかけていましたが、ツアーのことが新聞に取上げられたり、参加した人がクチコミで拡げてくれました。……行く村は決まっているのですか？

同じ所へは2度と行きません。同じように貧しい村があるなかで、一つの村だけが栄えると周りとのバランスが悪くなるでしょう。場所はこれまで仕事を手伝ってくれた人から話を聞いたなかで、できるだけ環境の厳しいところを選んでいきます。

……参加者のカルチャーショックもかなりのものでしょう。

それが僕には面白い(笑)。そのショックが新鮮な経験になるみたいだし、60才代の人は昔のことを思い出すらしい。このツアーの参加者はお金も出し、物も出し、体力も出すけど、それより精神的にもらってくる物の方が大きい。それこそ常連が出来た理由だと思う。初めて行く人も、そんな話は一言も言わないけど、感じるみたい。

……旅行で訪れたことをきっかけに、ここまでネパールと繋がりができたというのは凄いですね。

これはもう縁だと思えます。あと山奥の子どもたちと関わるようになってから、僕としては「何かを彼らに届けたい」という想いがふくらんでいったんです。そして一番大きいのはネパール自体が、日本人の価値観とは違う、何か精神的な世界を中心に動いているところでしょう。ネパールに行く大切なのは物質よりも、精神の方だになって再確認するんです。それに僕には何の気負いもないんです。捨てているものを持っていくぐらいの感覚ですから。

……これからも玉川さんのネパール通いは続きそうですね。

都市部は別ですが、ネパールでは大人も子どもも、牛から犬までみんないい顔している。何より匂がいいんです。排気ガスとか、人間がつくり出す臭いがほとんどない。草、わら、薪、家畜。そういう匂いは人間にとって癒しになると思うんです。一度、行ってもらえばわかります。精神衛生上、むちゃくちゃいい所です。僕は年3回行きますけど、それでも普通の仕事が忙しいからネパールで受けた印象や想いが薄らいでくると。日本の生活ってスピードが速いでしょう。だから何カ月かに1回行かないと、自分の気持ちが乾いてくる。行って「あ、これや。これを忘れたらいかん」と思うんです。僕はいずれ、向こうから日本に出稼ぎにきます。たまたま日本のパスポートを持った、ネパール人という気持ちでいるんです。

玉川秀樹

住所/志摩郡大王町波切429

Tel.0599-72-3243 Fax.0599-72-3244

E-mail uminchi@quartz.ocn.ne.jp

玉川秀樹さんはこの人を**紹介**します。

佐藤 肇(さとうはじめ)さん

玉川さんの義兄という佐藤さんの職業は画家。自ら作品を生み出す一方で、ダウン症の人々に絵を教え、その絵の素晴らしさを紹介し続けています。

**編**  
集後記

今回の市民活動ニュースは2周年記念号であると同時に、20世紀最終号でもあります。皆さんに支えられ市民活動ニュースは無事に20世紀を終えることができそうです。21世紀と共に始まる、3年目の市民活動ニュースもこれまで同様、いえそれ以上によりよろしくお願いいたします。

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。  
**R100** 古紙100%、白色度70%の紙を使用しています。